

Dissection course obliged to accomodate itself to the changed situations of universities

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Tanaka, Shigenori メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/2297/8403 |

大学の変化と解剖学実習

Dissection course obliged to accomodate itself
to the changed situations of universities

金沢大学医学部解剖学第二講座
田 中 重 徳

平成も5年目の春を迎えた。医学部の内外の情勢は教育研究の高度化と活性を図る点検評価委員会の設置、大学設置基準の改正、医師国家試験の3月への繰り上がり実施、そして週休二日制の完全実施等々大きく変わろうとしている。全国の医科系の学部や医科大学の殆んどが新カリキュラムを実施しているか、または鋭意検討中という状況であり、金沢大学医学部もカリキュラム委員会の努力により、新カリキュラムが既に作成され、早ければ平成7年度入学の学生から適用されることになった。私達が担当する解剖学、とりわけ解剖学実習も新しい時代への適応を余儀なくされる。

私は昭和63年から平成元年にわたって解剖学会の熱心な先生達が企画した解剖学教育検討フォーラムの仲間に加えてもらい、解剖学の教育の将来を検討する機会に恵まれた。このフォーラムには解剖学関係者だけでなく、内科学、外科学、整形外科、病理学、薬理学、生化学の日本医学会をリードする錚々たる人々も特別参加してくれ、忌憚りの無い意見が次々と出された。

このワークショップでは、日本の解剖学教育の状況認識から始まり、外国の例を参考にしながら、時代の要請にあった新しい解剖学教育のあり方を模索して討論を重ねた。経験則だけに依拠し、各論的知識と見解しかもっていなかった私には、正直言って、この討論はどこか優等生の感があり、他の学問分野に対してのおもねがあるような気分がして気が重かった。しかしながら、忙しい中であって時間を割いてフォーラムに参加された各分野の先生の意見を聞いている中に、私のこれまで持ち続けて来た固定観念はアナクロとして、いずれは淘汰される運命にあり、新しい時代に適した解剖学実習のあり方を本気になって考えなければならない時代になっていることを実感し、このワークショップに参加出来たことを有難く思った。この時のワークショップの行き着いた結論は、解剖学の教育をプライマリー・コースとアドヴァンスト・コースとに分け、プライマリー・コース

では極く基本的な事項を教え、アドヴァンスト・コースでは research-oriented や clinically oriented な事項を教えるというものであった。

私はこれまで医学部のカリキュラム全体のバランスという条件の中で、解剖学実習の効率を如何に挙げるかを考え、幾多の試行錯誤を繰り返して、最近になって漸く格好がついてきたような気がしていた。新しいカリキュラムの施行されるに伴い、ワークショップの到達点を念頭に置きながら、プライマリー・コースとしての解剖学実習のあり方を求めて、模索と試行を重ねなければならないと思っている。人体の構造には発生学的なルールに従って形成されたいわゆる“形成原理”というものがある。しかもこの原理はさほどうるさくないものである。学生がこれらをしっかりと掴み、且つ基礎的な“core”となる事項をしっかりと体得してもらえばプライマリー・コースの教育は達成されたと思う。同時に、教育の内容が解剖学用語を無味乾燥的に羅列に墮するのを防げると思っている。

アドヴァンスト・コース的な教育内容を検討する際、research-oriented な内容に加えて clinically oriented な内容をも検討するつもりである。そのためにご遺体を可及的に生体に近い状態で保存すべく努力している。しかしながら、clinically oriented な内容の教育は解剖学者にとって甚だ不得手とするところであり、今でも解剖学実習において臨床の先生からご協力を頂いて臨床解剖を学生に教えて頂いているが、その時の眼の輝きが全く違っている。最新の臨床を知らない解剖学者には臨床解剖を教える上で力の限界と分限があることを実感する。

大学はこれから大きく変わろうとしている。私の教育と研究は些かの向上を願って試行錯誤が続く。春秋に富む学生諸君が医学全般にわたって最新の知識と手技を身につけ、金大の将来を背負う立派な人材となって欲しいと希っている。